

はじめに

札幌市では平成19年6月に公表した施政方針「さっぽろ元気ビジョン 第2ステージ」の実現に向けて、「第2次札幌新まちづくり計画」と「札幌市行財政改革プラン」の策定を進めてきました。「第2次札幌新まちづくり計画」は施政方針に掲げるまちづくりの基本的な方向性を実行に移すためのまちづくりのプランとして、平成19年度から平成22年度までの4年間を計画期間とするものです。



札幌市では、昭和30年代後半からの急激な人口増加と昭和47年の冬季オリンピック開催や、政令指定都市への移行による区制の導入などに対応する形で、札幌市にとってまさに飛躍の時代に都市としての骨格が整備されました。それから35年、その後の着実な都市基盤の整備などにもよって、北方圏の拠点都市として発展を遂げ、成熟した大都市に成長しました。

一方、本市を取り巻く環境は、国や地方の厳しい財政状況、少子高齢化の進行や地方分権への取り組みなど、大きな転換期を迎えています。

本計画では、こうした成熟期を迎えた札幌の新たなまちづくりの方向性として、市民自治の着実な推進と、少子化への対応や高齢者、障がいのある人への支援など「人を大事にする視点」を原点に、先人が築いた都市基盤や機能などの魅力や資源を十分に活かしながら、道都にふさわしい風格のある、人と環境にやさしい都市へと再整備を行い、子どもから高齢者まで市民の皆さんが将来に希望を持てるまちづくりを目指します。

計画の策定にあたっては、平成19年4月から施行された札幌市自治基本条例の理念に則り、各段階で内容を公表し意見募集を行ったほか、アンケートの実施、まちづくりに関するシンポジウムの開催、パブリックコメントなどを通して、市民の皆さんの意向を把握し、可能な限り計画に反映しました。

今後、計画を推進していく上でも、市民や企業などの皆さんと理念を共有し、まちづくりへの参加や協力を得ながら、議論を尽くして共に進めていきます。4年後には目の前に現れる街の変革を市民の皆さんにも実感として味わっていただけるよう、市民の皆さんと一緒に、市民の力みなぎる、文化と誇りあふれる札幌の街を築いてまいります。

平成19年12月

札幌市長 上田 文雄

目次

第1章 計画の基本的考え方

- 1 計画策定の趣旨、計画期間、計画の位置づけ 2
- 2 前計画(札幌新まちづくり計画)との関係 3
- 3 計画の特徴 4
- 4 計画の事業数と事業費 6
- 5 計画の推進にあたって 7

第2章 計画体系別事業一覧

- 1 計画体系 10
- 2 計画事業 12
- 3 各区役所の計画事業 90

第3章 その他

- 1 成果指標 94
- 2 主な施設、サービス水準 100
- 3 公共施設における保全、長寿命化などの取り組み 102
- 4 部局別計画事業一覧 104

資料編

1	政策目標に関連する主な部門別計画等	114
2	計画策定の経過	115
3	市民意見	116
4	さっぽろまちづくりトーク	132
5	大学との意見交換、出前講座	134
6	パブリックコメント手続き	135
7	計画(案)からの変更点	166
8	人口の動向、社会資本の整備状況	168
9	前計画(札幌新まちづくり計画)の実施状況	172
	Ⅰ 実施状況の概要	172
	Ⅱ 重点戦略課題別実施状況	174
	Ⅲ 成果指標の状況	192
	Ⅳ 主な施設、サービス水準の状況	196

(巻末)用語解説

用語解説	200
------	-----

本文中のアスタリスク「*(色あり)」、「*(色なし)」は、(巻末)用語解説にその語句の説明が掲載されていることを表しています。なお、「*(色あり)」は、初出の語句を表しており、同一ページ下に脚注としても掲載しています。また、同一ページに同一語句が複数ある場合は、最初の語句にのみアスタリスクを付記しています。